

「靴下屋」のタビオ発 レッグファッショントレンド通信 ～2011年春夏号～

【トピックスダイジェスト】

2010年度 女性のファッション動向徹底分析

- 前年度より2,507円アップ。女性のおこづかいは回復傾向に！
- ファッションエンゲル係数22.4%！ おこづかいの1/4はファッション代
- ファッション三種の神器は、「スカーフ」「アクセサリ」「レッグウェア」
- 「森ガール」「山ガール」を知っている7割超！
熟女認知率が高いのは「釣りガール」！？ など

全国8都道府県の10代～50代の女性、1,846人を対象に行った調査の結果をもとに、2010年度の女性のファッション動向を振り返ります。
また、ここ数年ますます注目が高まっているレッグファッションについても詳しく解析。
これさえ読めば、女性のファッションの「いま」と「これから」がわかります！

2011年 春夏 レッグファッショントレンド予報

- ファッションジャーナリスト宮田理江さんが
この春夏のレッグファッショントレンドを大胆予測！
今シーズンのキーワードは「楽観主義(optimism)」
- 「靴下屋」の春商品ラインナップを一挙紹介！
～靴下屋 2011 Spring Collection～

【レッグファッショントレンド調査】

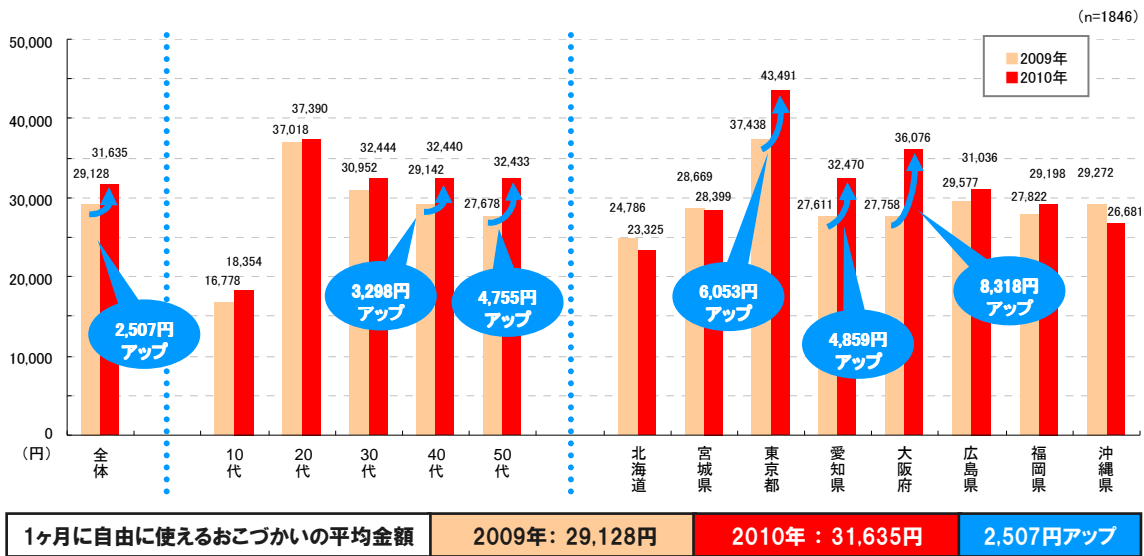
対象エリア : 8都道府県(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・福岡・沖縄)
対象者 : 上記エリア在住の13歳～59歳の女性 1846人(有効回答数)
調査期間 : 2011年01月19日～2011年01月21日 方法 : インターネット調査

2010年度 女性のファッション動向徹底分析

前年度より2,507円アップ。女性のおこづかいは回復傾向に！ 年代では「40代」「50代」、エリアでは「東京」「大阪」「愛知」が大幅増

「靴下屋」を展開するタビオが全国7都道府県の女性を対象に行った調査によると、2010年のおこづかいは平均31,635円。2009年の29,128円と比べると、実に2,507円もアップ。女性たちのお財布事情は、回復傾向にあることがわかりました。また世代別では「40代」「50代」が、エリア別では「東京」「大阪」「愛知」がそのなかでも特に金額の増加が目立ちました。

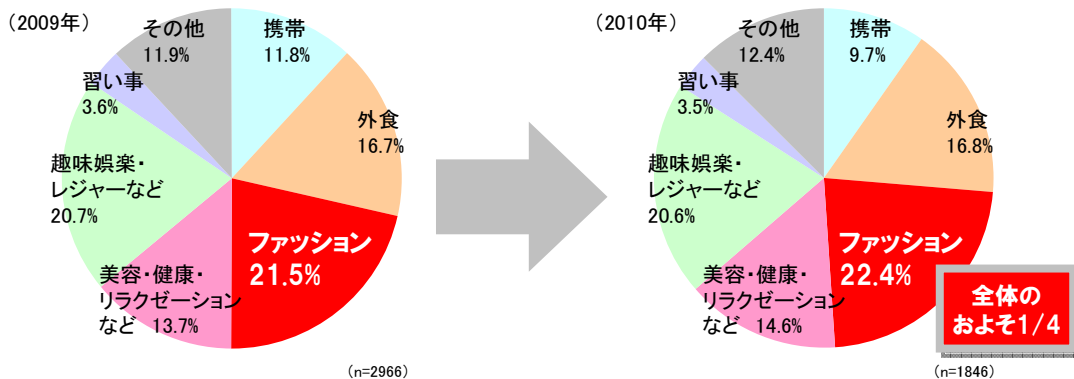
Q.1ヶ月に自由に使えるお金(おこづかい)はだいたいいくらですか？



ファッションエンゲル係数22.4%！ おこづかいの1/4はファッション代

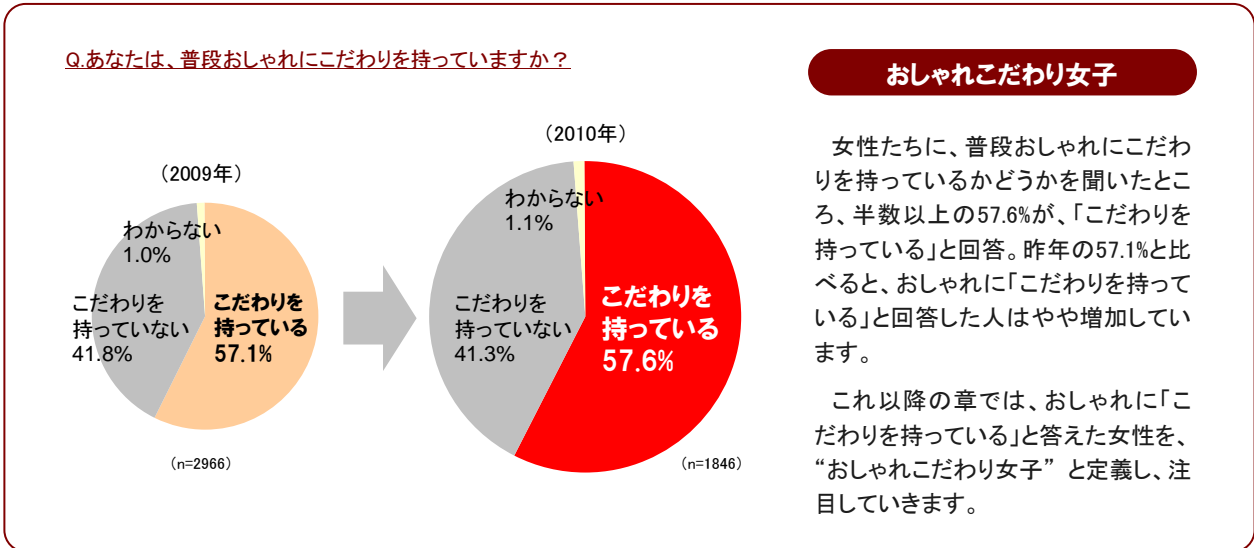
おこづかいの使い道を聞いてみると、「ファッション」に掛ける金額が、2009年(21.5%)同様、2010年も最多の22.4%。全体のおよそ1/4と、女性たちのファッションエンゲル係数の高さが伺えます。エステにネイル、習い事と自分のための投資先が、とかく多いと取り沙汰される最近の女性たちですが、やはり数ある投資先の中でも「ファッション」への自己投資欲が一番高いようです。

Q.1ヶ月に自由に使えるお金(おこづかい)のうち、次のものに費やす金額はどのくらいの割合を占めますか？



● ファッションを牽引する“おしゃれこだわり女子”を徹底分析

女性たちの自己投資欲を何よりも強くかきたてるファッション。世の中の女性たちのどのくらいが、おしゃれへのこだわりを自覚し、ファッションを楽しんでいるのでしょうか。ここからは、さらにおしゃれにこだわりを持つ、“おしゃれこだわり女子”にクローズアップし、彼女たちを徹底分析します。

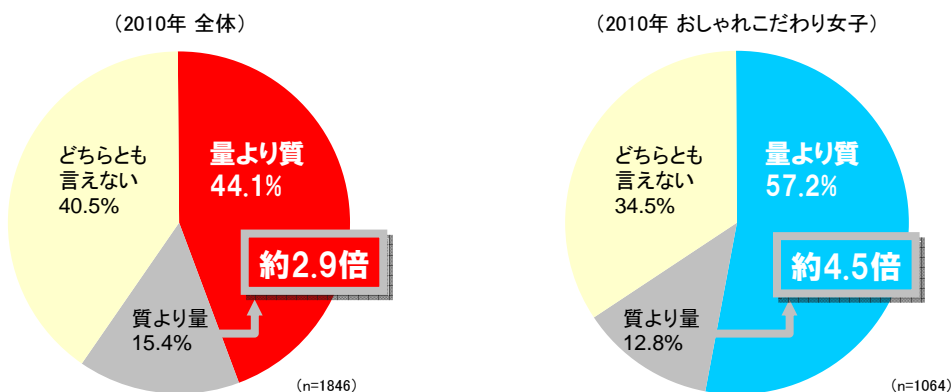


● おしゃれの極意は“量より質”！？

今回の調査で、おしゃれをする上でこだわるのは？と質問したところ、「量より質」と回答した人が全体では44.1%、さらに、“おしゃれこだわり女子”では、およそ6割の57.2%という結果になりました。“おしゃれこだわり女子”が、「量より質」と回答した人は、「質より量」と回答した12.8%の約4.5倍にもものぼります。(全体は約2.9倍)

ここ数年、低価格・大量生産の「ファストファッション」が世の中の脚光を浴びてきましたが、今後は、“おしゃれこだわり女子”を筆頭に、より質を重視したファッションへと回帰していくのかもしれない。

Q.あなたがおしゃれをする上でこだわるのは、以下のどちらですか？

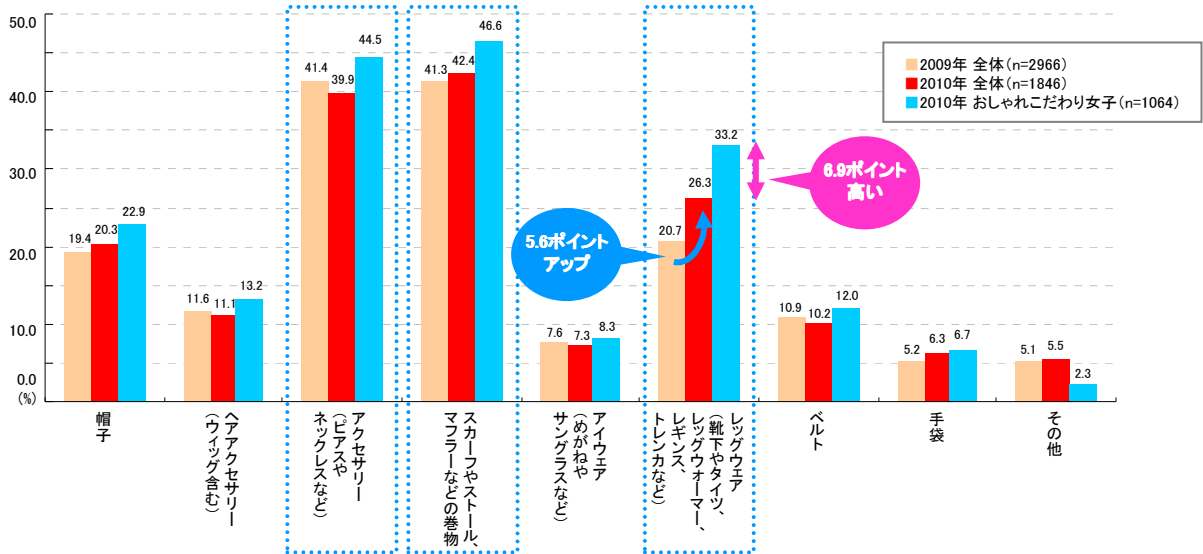


● ファッション三種の神器は、「スカーフ」「アクセサリ」「レッグウェア」

また、あまりお金をかけずにファッションに変化をつけるために取り入れている小物について聞いたところ、「スカーフやストール、マフラーなどの巻物(42.4%)」、「アクセサリ(39.9%)」、「レッグウェア(26.3%)」に回答が集中しました。

昨年と比べて伸び率が一番目立ったのは、5.6ポイントがアップした「レッグウェア(2009年:20.7%⇒2010年:26.3%)」。「おしゃれこだわり女子」に至っては、全体よりもさらに6.9ポイント高い33.2%となっています。ここ数年、大注目のレッグウェアは、いまや「おしゃれこだわり女子」の間では、必須のファッションアイテムとなっているようです。

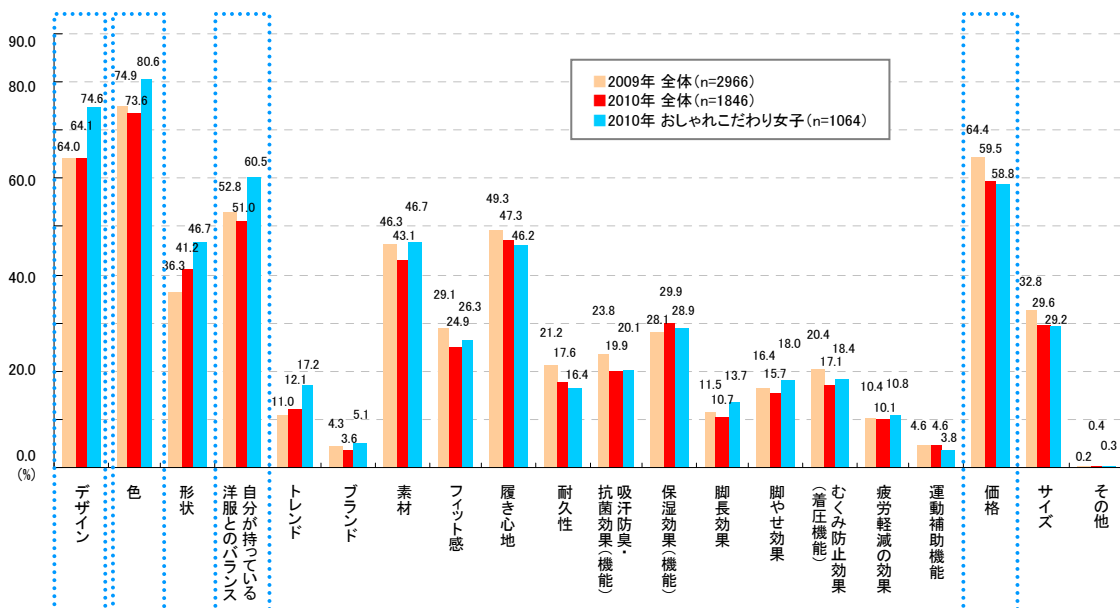
Q.あまりお金をかけず、ファッションに変化をつけるために取り入れている小物は何ですか？(いくつでも)



さらに、そんな「おしゃれこだわり女子」たちに、レッグウェアを選ぶときのポイントを聞いたところ、上から順に「色(80.6%)」「デザイン(74.6%)」「自分が持っている服とのバランス(60.5%)」という結果になりました。

全体では、3番目に59.5%で「価格」があがってきますが、「おしゃれこだわり女子」たちは、全体と比べると「価格」と回答したポイントが58.9%と若干低い結果になり順序が逆転。価格よりも「自分が持っている服とのバランス」を重要視するという「おしゃれこだわり女子」の姿が浮き彫りとなりました。

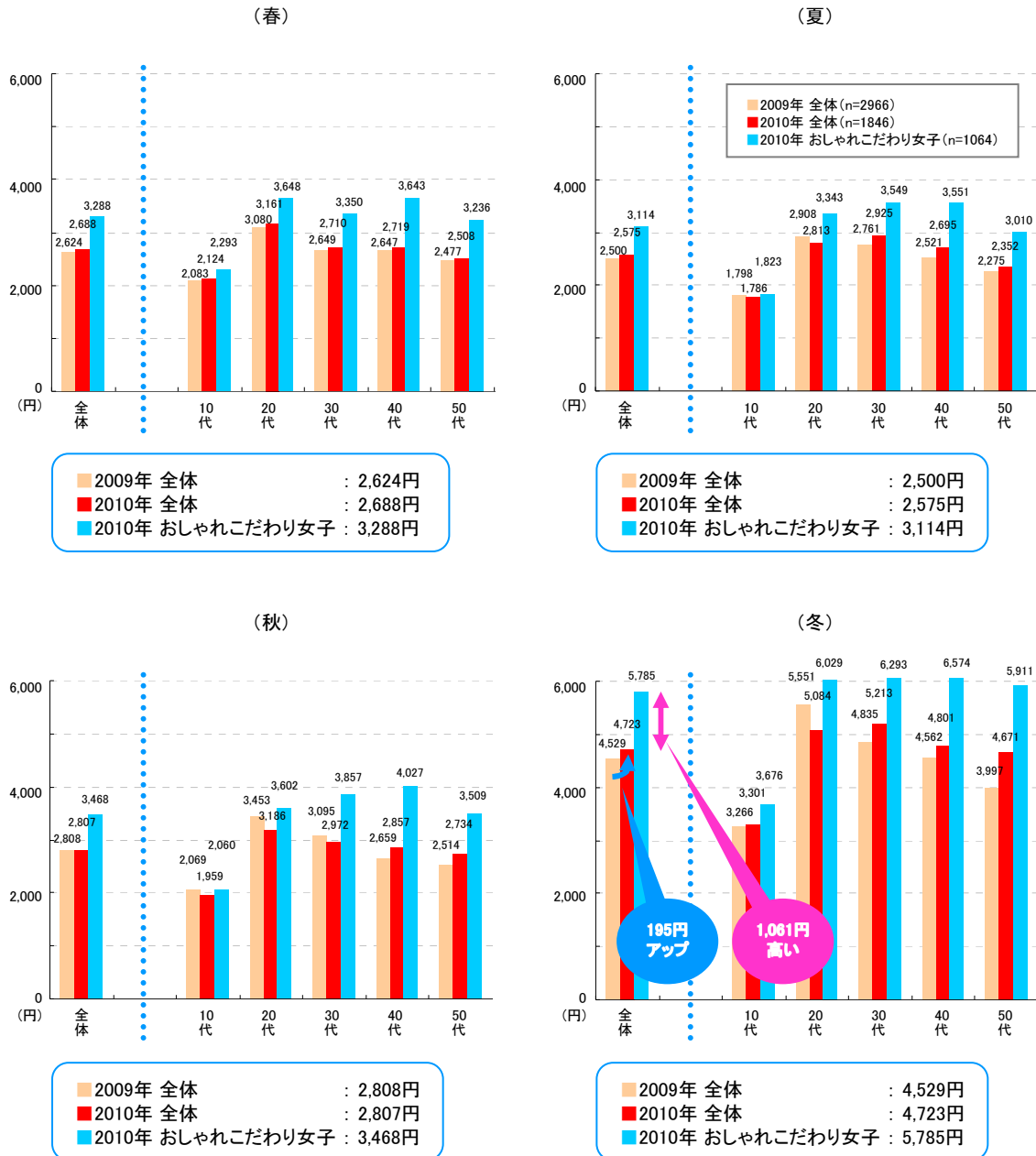
Q.レッグウェアを選ぶときのポイントは何か？(いくつでも)



“おしゃれこだわり女子”も大注目のレッグファッション！ レッグファッションに掛ける金額、2009年より増加

ファッションを牽引する“おしゃれこだわり女子”を筆頭に、ますます注目が高まってきているレッグウェア。では、実際に女性たちはレッグファッションに、どのくらいのコличествоをかけているのでしょうか。シーズンごとの費用を調査してみました。

Q.シーズン毎に、レッグファッションにかかる金額は平均いくらですか？



調査の結果、レッグファッションにかかる金額は、全体では一年を通して20代・30代の金額が高いなど、世代間の違いが見られますが、“おしゃれこだわり女子”については、40代・50代も含め世代間での金額の違いはそれ程みられず、どの世代においても高い金額となりました。“おしゃれこだわり女子”にとって、レッグファッションは世代を超えて楽しめるおしゃれだと言えます。

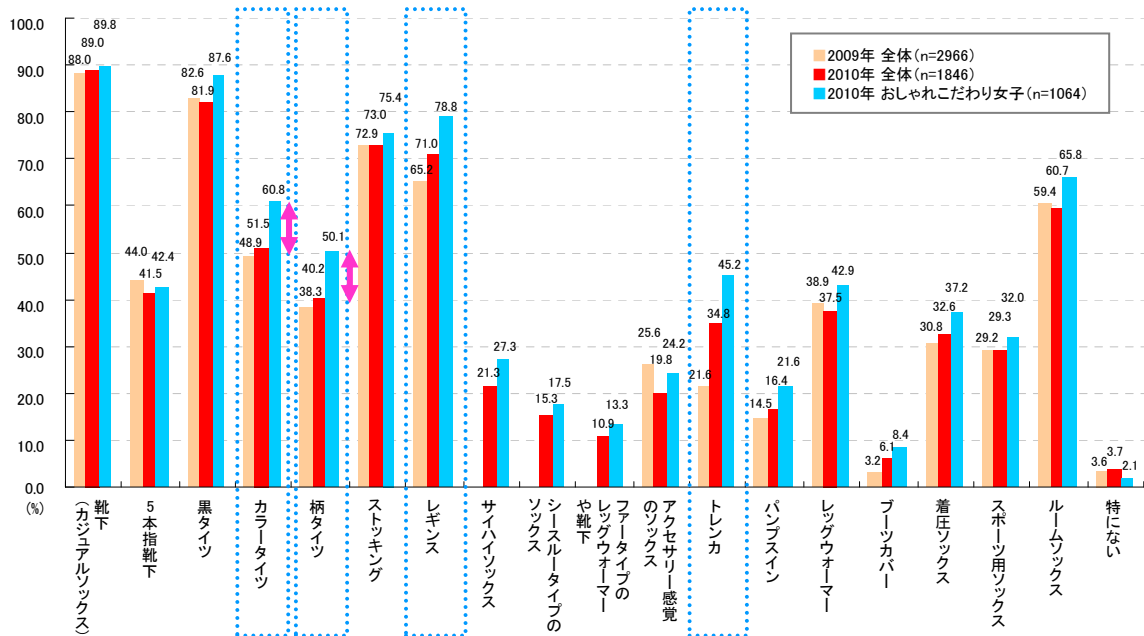
また季節別でみると、春夏秋ではあまり違いは見られないものの、冬になると大きく金額が増加。さらに2009年、2010年の冬を比較すると、全体では、4,529円から4,723円に増加(195円アップ)。“おしゃれこだわり女子”に至っては、さらに全体より1,061円高い、5,785円をレッグファッションにかけているということがわかりました。

● ”おしゃれこだわり女子”は、レッグファッションスタイリング上手

では、レッグファッションにかける金額が増加した理由は、一体どこにあるのでしょうか。女性たちに持っているレッグウェアについて聞いたところ、“おしゃれこだわり女子”は全てのレッグウェアにおいて、全体よりも所持率が上まっているのがわかりました。彼女たちのレッグファッションにかける金額が高かった理由は、持っているアイテム数の多さにもあるようです。

さらに、全体と比べて“おしゃれこだわり女子”の所持率の高さが際立ったのは、「カラータイツ」「柄タイツ」「レギンス」「トレンカ」。特に「カラータイツ」や「柄タイツ」は、バリエーションが豊富でコーディネートアクセントにもなるアイテム。やはりファッションを牽引する“おしゃれこだわり女子”ほど、レッグウェアをファッションのキーアイテムとして巧みに取り入れ、おしゃれの幅を広げているようです。

Q. 次のうち、持っているアイテムをすべて教えてください。(いくつでも)

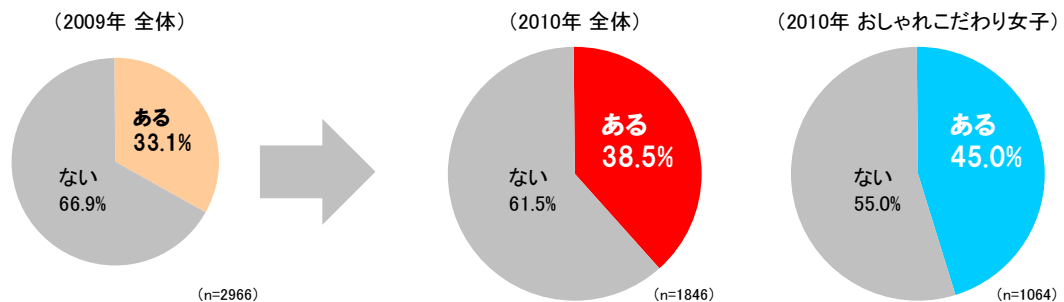


※「サイハイソックス」「シースルータイプのソックス」「ファータイプのレッグウォーマーや靴下」の選択肢は、2010年度調査より新設

また、ここ数年、以前にはあまり見なかったレッグウェアの重ね着スタイルの女性を、街で見ることが増えました。実際に、レッグウェアの重ね着をすることがあるかという質問に対しても、「ある」と答えた人が2009年は33.1%だったのに対して、2010年は38.5%と増加しています。さらに“おしゃれこだわり女子”に至っては、45.0%の人が「ある」と回答しました。

“おしゃれこだわり女子”を筆頭に所持するアイテム数を増やしたレッグウェア。重ね着などによるレッグウェアスタイリングの多様化も、そのことに大きく影響しているようです。

Q. タイツとレッグウォーマー、異なるパーツソックス2枚以上など、レッグウェアを2つ以上重ねてコーディネートすることはありますか？



● 「森ガール」「山ガール」知っている7割超！熟女認知率が高いのは「釣りガール」！？

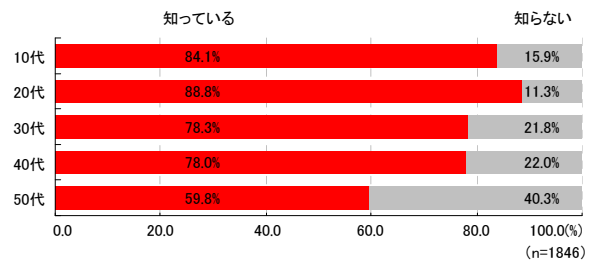
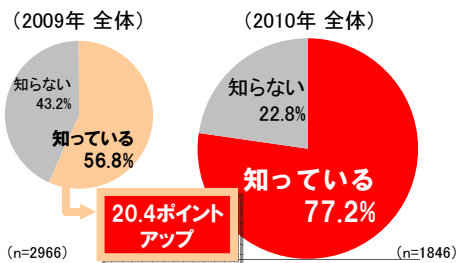
「森ガール」に続き、2010年度は「山ガール」「OJIガール」「釣りガール(釣女)」といったガールが続々と登場しました。

それぞれの認知率を調査したところ、「森ガール」は、昨年より 20.4ポイント上昇し77.2%。また2010年度より調査を開始した「山ガール」は、比較的新しく登場した「ガール」にもかかわらず74.2%が「知っている」と回答しました。40代・50代の熟女層にも、意外に認知率が高かった「山ガール」。世代を超えた健康ブームが、「登山」を連想させる「山ガール」の認知率を後押ししたのでしょうか。

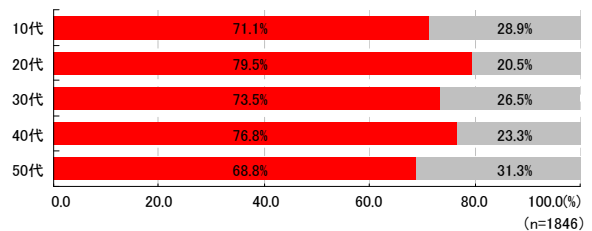
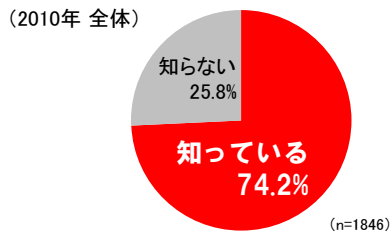
さらに「釣りガール」に関しては、10代・20代といった若い世代よりも、30代・40代・50代の方が今回の調査では認知率が高かったという、意外な事実も判明。

「山」や「釣り」などのキーワードは、子育てなどが一段落しセカンドライフを意識し始めた世代が、特に結婚している場合は夫婦で、今後チャレンジしやすい趣味ともイメージが重なります。そういった意味でも、「山ガール」「釣りガール」は、熟女世代に親和性の高い「ガール」なのかも知れません。

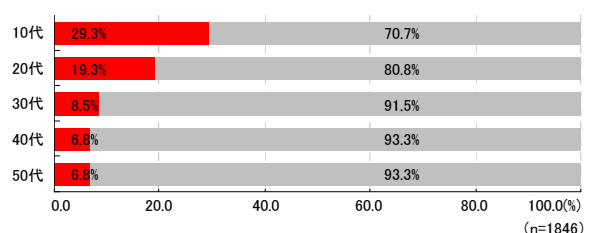
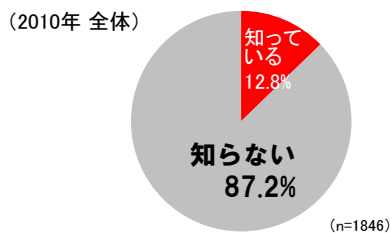
Q.最近、雑誌でも話題の森ガールを知っていますか？



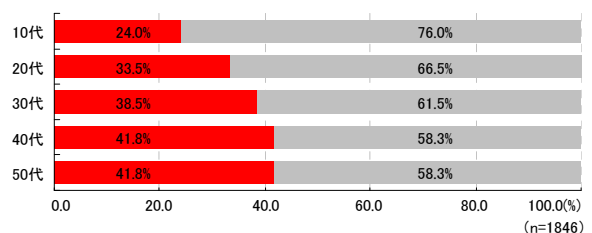
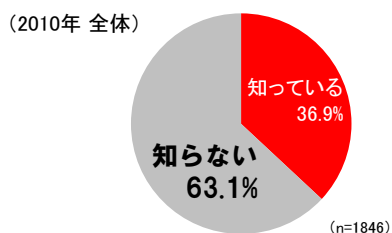
Q.最近、雑誌でも話題の山ガールを知っていますか？



Q.最近、雑誌でも話題のOJIガールを知っていますか？



Q.最近、雑誌でも話題の釣りガール(釣女)を知っていますか？



※「山ガール」「OJIガール」「釣りガール(釣女)」に対する設問は、2010年度調査より新設

2011年 春夏 レッグファッショントレンド予報

ファッションジャーナリスト宮田理江さんが、 この春夏のレッグファッショントレンドを大胆予測！

● 2011年春夏ファッショントレンドキーワードは、「楽観主義(optimism)」

「楽観主義(optimism)」ー。2011年春夏ファッショントレンドを象徴するキーワードはこれです。消費マインドの回復を追い風に、おしゃれの世界にもポジティブ気分がカムバック。肌越しに元気をチャージしてくれそうなヴィヴィッドカラーや、迫力ボトムのワイドパンツ、きちんと感を醸し出す白シャツなどが主役になる予感です。

また、70年代調の復活も楽観ムードの表れ。グラムロック風の妖しい装いや、ディスコのサイケデリックカラーなどが華々しく帰ってきます。裾広がりのフレアパンツはシンボリックなアイテムです。

● ショートパンツ+レッグウェアのスタイリングは、レディーライクに整えるのが今年流 足首を華奢に見せてくれるワイドパンツには、派手色や柄物のソックスがオススメ！

フェミニンに進化したショートパンツはキレイめに履きこなしたい。ジャケットやシャツ、ブラウスと合わせて、レディーライクに整えるのが今年流。足首丈のガーリーなソックスは、ショートパンツにコкет感プラスしてくれるアイテムです。

また、今年最もニュースなボトムはたっぷり幅のワイドパンツ。圧倒的なボリューム感がくつろぎやワイルドさをアピール。大人っぽい余裕あるスタイルに仕上げてくれます。かえって足首を細く見せる効果もあるので、シャープなレッグラインを演出しやすいのもメリット大。主張のある派手色や柄物のソックスはワイドパンツとの好相性を発揮しそうです。

● 今春夏は、原色系のヴィヴィッドカラーでポジティブ気分！ 白1色で全身を包むホワイトルックには、素肌になじむヌーディなソックスが◎

原色系のヴィヴィッドカラーは今春夏のポジティブ気分を物語る鮮烈なカラーパレット。強い色を重ねるバイカラー(2色使い)、トリコロール(3色)のコーデが互いの色を引き立て合います。色の大きなかたまりを配するカラーブロッキングでまとうと、インパクトが増します。ソックスにも派手色が増えるから、ネオンカラー(蛍光色)やゼリービーンズ色にもチャレンジしてみたいくなります。

白1色で全身を包むホワイトルックもこの春夏の新顔。清潔感やイノセントさを物語る白を際立たせるには、ソックスやストッキングでのコーデが効果的です。素肌になじむベージュ系で脇役に回ってもいいし、逆に白で同調してオールホワイトに仕上げててもよし。繊細なイメージを醸し出すレースソックスなら、柔和さや品格も印象づけられます。

● ウイングチップ、コインローファーなど、英国調の紳士ライクな靴が流行の兆し！ マニッシュな足周りには、チュールソックスやレースソックスなどでキュートに演出

メンズとレディースをまたぐ流れを映して、紳士ライクな靴にも流行の兆し。英国調のオックスフォードシューズやウイングチップ、コインローファーなどをフェミニンな着こなしに合わせるスタイルが足元に新風を吹き込んでくれます。厚底のプラットフォームやサボ、ウェッジソールも人気再燃しそうです。

マニッシュな足周りには、透け感のあるチュールソックスや、メッシュ柄、レース仕上げのレッグウェアがかえってお似合い。厚みのある靴にはガーリーなソックスで若々しさやキュートネスを差し込んで。

● スタイリングのスパイスには欠かせない“足元コーデ”

強い色が台頭する今春夏ですが、服で取り入れるのは気後れがするという人は、ソックスで試すといいでしょう。ポップな色をソックスに生かせば、春夏らしいエナジフルな足元に。視線を引き下げて、レッグラインがすっきり見える効果も期待できます。

レッグウェアは今や個性的なおしゃれに欠かせないアイテム。しかもお手頃プライスの割に、着こなしを引き立たせる効果が大きいのがうれしいところ。春夏の街を彩る楽観ファッションの目印としても取り入れやすそうです。



宮田理江 (ファッションジャーナリスト)

複数のファッションブランドの販売員としてキャリアを積んだ後、バイヤー、プレスも経験。現場経験を生かした、最新コレクションレポートやスタイリング情報を、多彩なメディアで発信している。旬トレンドや時流をとらえた、“今”が分かる記事・解説が好評。テレビ出演、新聞・雑誌連載など、フィールドは幅広い。ブランディング支援やファッションセミナー、専門学校での指導も手がけている。

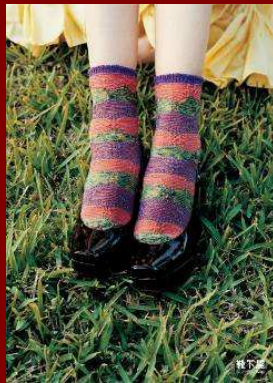
「靴下屋」の春商品ラインナップを一挙紹介！

～靴下屋 2011 Spring Collection～

ここ数年、おしゃれな女性の間では、ショート丈のソックスをサンダルやパンプスに合わせるスタイリングが定番化しました。また春以降のシーズンは、スニーカーやカジュアルなペタンコサンダルなども様々なバリエーションのものが登場しますので、それに合わせたソックスも必要になってきます。

春夏は、レッグファッションでスタイリングの幅が広がるシーズン。今シーズン、タビオでは、よりPOPな配色や柄、凝ったディテールや素材の商品を豊富にラインナップしました。

ベーシックなスタイリングにも、足元にポイントとなる色や素材、またレースなどのアイテムを足すことで、全体の印象がグッと新鮮に。タビオは、今シーズンも足元から女性たちのおしゃれを応援します。



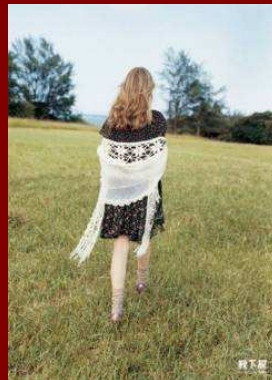
ソフトでやわらかい肌触りや、編地で変化をつけたボーダー……。それぞれの糸の素材を楽しむ1足。動きと立体感、そして鮮やかなカラーが春をハッピーに飾ります。スニーカーやサンダルなどにもオススメ。スタイリングのポイントにもなります！



空気をふっくらとふくんだバルキー糸を使用。ボリューム感があり、ほっこりしているのがポイント。でも綿混だから履き心地は爽やかです。登山にも行けちゃう！デザイン的にはユニセックス感もありメンズっぽいスタイリングにもオススメです。



かかとから上はふわっとしていて、かかとからつま先まではフィット感があるように、それぞれで使う糸と編み方を工夫しました。綿レースのキナリもポイント。ちょうど気持ちいい履き心地です。春の風を感じるローゲージ(少ない針数)の靴下です。



ボリューム感と、心地いい肌触り。秘密はランダムに太い部分があるスラブ糸で編んでいること。でも、フィット感があるから履き心地も満足できます。かすり染めの色合いは、いろいろな服と合わせやすいからコーディネート幅も広がります。



ふわっと広がるレースは、よりナチュラルなイメージにするためにコットンレースにこだわりました。緑の庭に似合う春らしく軽やかな感じです。またフィット感にもすぐれていて、うれしい履き心地。ナチュラルガーリーを楽しめる1足です。



ポイントはレース調のメッシュ柄。しかも上質な光沢感。糸も伸縮性のある裏糸を使っているので、心地いいフィット感があります。ガーリーなスタイルにぴったり！春らしいカラーバリエーションを揃えました。



糸が細く透けていて繊細な肌触りですが、長さがあるのでしゅっとするとボリューム感も出せます。リボン位置は上下、前後、左右とコーディネートに合わせてアレンジ自由。レトロな色使いも魅力です。



チュチュ(バレエの衣装)のようなふわふわとしたイメージでつくった靴下。光沢感のあるシルケット糸で可愛らしく、しかも上質感を出しました。リブ編みだからフィット感がよく、すっきりと見える。足首にボリュームを持たせながら、軽やかな印象を。



履いても縄の柄が立体的にはっきりと出るハイソックスだから、柄をアクセントにできるスタイリングがオススメです。ほっそりと、ふくらみのある優しい綿糸で編んでいるので、心地よさも抜群。繊細な履き心地を楽しんでください。コインローファーにもオススメです。



繊細なデザインだけじゃ、ダメ！レースの繊細さと、靴下としてのフィット感の両方を楽しめるものをつくりたい！！そんな想いから生まれた1足です。その秘密は、高級な糸にあります。徹底的に糸にこだわって、丁寧に編み立てることによって、やっとカタチになりました。その仕上がりは、綿素材と思えないほど薄く、繊細。さらにつま先とかかとの面積をゆったりととっているため、ズレることなくフィット感にもすぐれています。美しさ、履き心地、質感をたかめるために、1本の糸を選び抜くことから始まる。それがMade in Japanの靴下です。

■ タビオ株式会社

タビオ株式会社は1968年創業し、43年の歳月の中で、「靴下を履いていることを忘れてしまうようなフィット感」を追求してまいりました。そんな繊細な履き心地の靴下をつくるために、長年の経験と技術を積んできた日本の職人たちがひとつひとつ丁寧に編み立てていきます。

現在では「靴下屋」「タビオ オム」「ショセット」「マイティソクサー」の靴下専門店ブランドを日本全国に269店舗(1月末現在)展開し、「Tabio」という店舗をロンドンに8店舗展開、2009年6月18日にはパリ1号店をオープンしました。

Made in Japanの履き心地とデザイン性は、ファッションの本場パリ・ロンドンでも高い評価を得ています。

Made in Japan

繊細な履き心地の靴下をつくるために、長年の経験と技術を積んできた日本の職人たちがひとつひとつ丁寧に編み立てていきます。ファッションの本場パリ・ロンドンにも9店舗展開し、その履き心地とデザイン性は、高い評価を得ています。

To create socks of peerless comfort, experienced and skilled Japanese craftsmen carefully produce them one by one. We manage nine stores in the homes of fashion, Paris and London. This artisan quality, combining comfort with high design, is much sought after there.

photo: Mirza, Paris photo: Kings Road, London

Tabio

＜タビオのMade in Japanのものづくりについて＞

タビオの靴下は繊細な履き心地をつくるために、長年の経験と技術を積んだ日本の職人たちによってひとつひとつ丁寧に編まれ、その“Made in Japan”の履き心地とデザイン性は、ファッションの本場パリ、ロンドンでも高い評価を得ています。

パリコレクションなど世界的なコレクションの傾向からも見て取れるように、昨今のファッション業界において非常に重要視されているレッグファッションですが、その世界のコレクションで、“Made in Japan”の靴下が著名ファッションデザイナーたちに起用されていることも、“Made in Japan”のものづくりが世界で認められていることを証明しています。



＜パリ・マレ店＞



＜ロンドン・ニールストリート店＞

■ 会社概要

- 社名 : タビオ株式会社 (大証第二部 証券コード : 2668)
- 代表取締役社長 : 越智 勝寛
- 創業 : 1968年3月 (設立 1977年3月)
- 本社 : 〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70 なんばパークス内パークスタワー16F
- 東京支店 : 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町2-9 第1カスヤビル5F
- 事業内容 : 靴下の企画・製造・卸・小売
直営店 靴下屋・タビオ オム・ショセット・マイティソクサーの展開
フランチャイズ・チェーン 靴下屋・マイティソクサーの展開
- ホームページ : <http://www.tabio.com/jp/>